

UNHABITAT支援プロジェクト完了式の開催

5月30日、嶋崎郁駐ヨルダン大使は、日本政府が令和元年度補正予算により支援した、UNHABITATのプロジェクト「洪水対策を通じた脆弱なヨルダンコミュニティ及びシリア難民の社会的安定及びレジリエンス強化」の完了式に出席しました。

本プロジェクトは、アンマン市の洪水対策としての雨水取水施設の整備に加えて、洪水リスクへの地域コミュニティの危機管理能力強化支援等のソフト・コンポーネントから構成され、日本の約98万ドルの支援により、UNHABITATがアンマン市と協力して実施したものです。

完了式は、アンマン市内に整備された、雨水を吸収するためのグリーン・インフラの完成を祝して開催され、アル・カイシ・アンマン副市長及びUNHABITAT関係者等が出席しました。

近年、益々深刻となっている気候変動による災害に対するヨルダン政府及びコミュニティのレジリエンス強化に資する日本からの支援に対し、参加者からは繰り返し謝意が述べられました。

